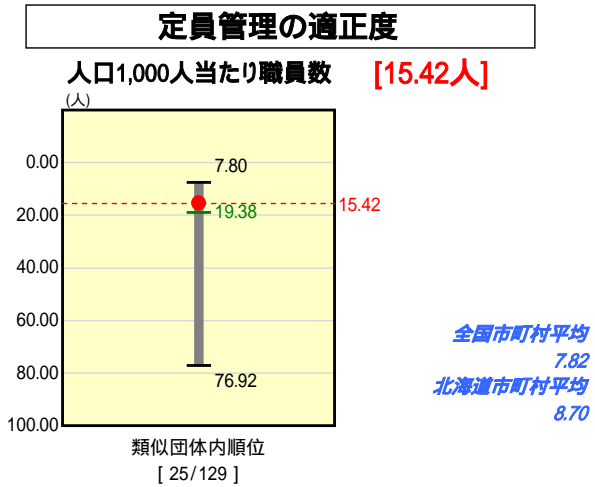
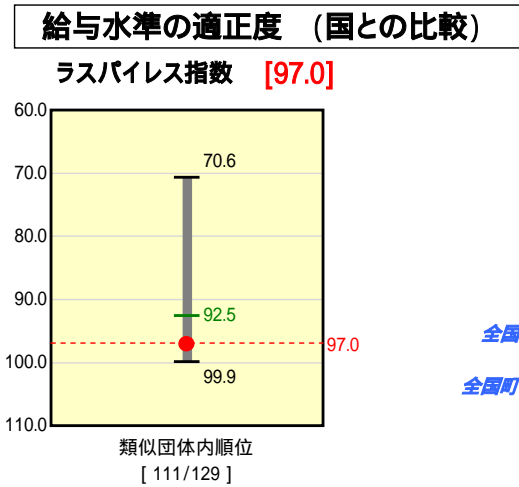
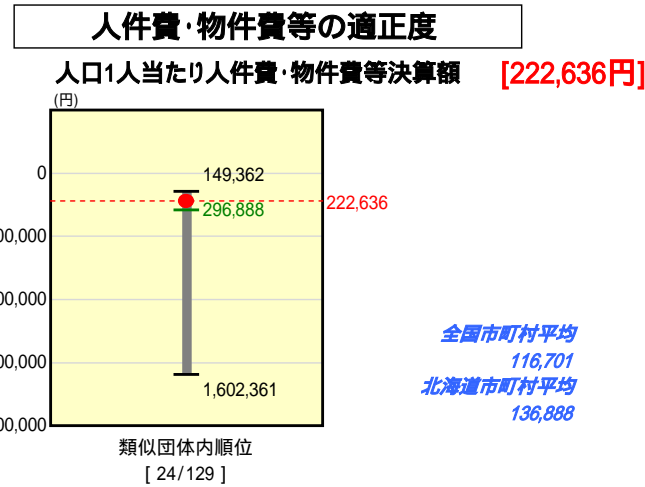
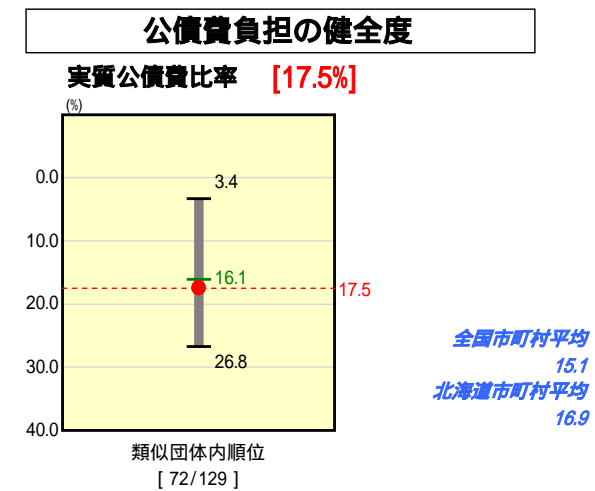
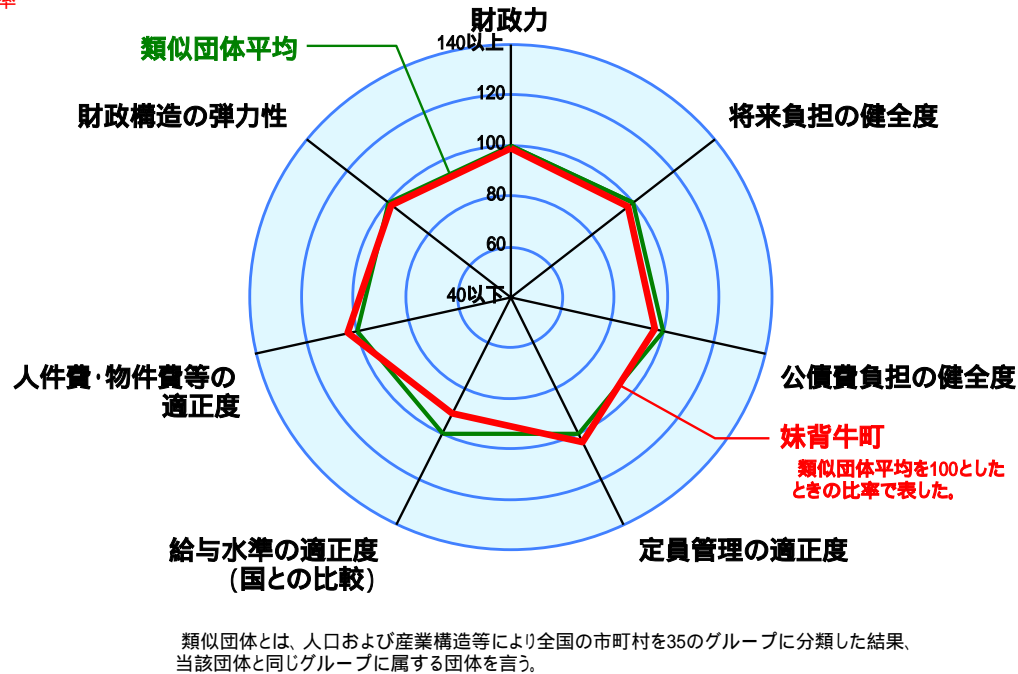
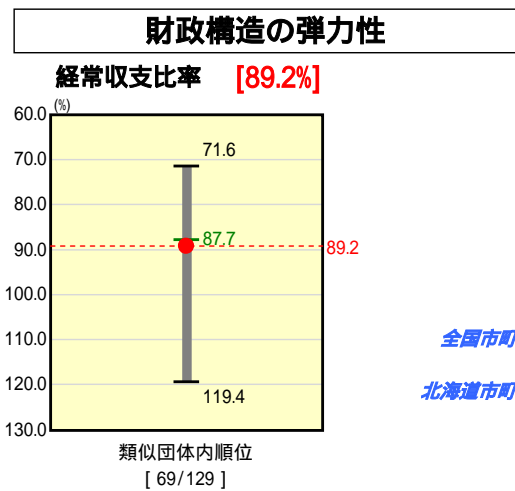
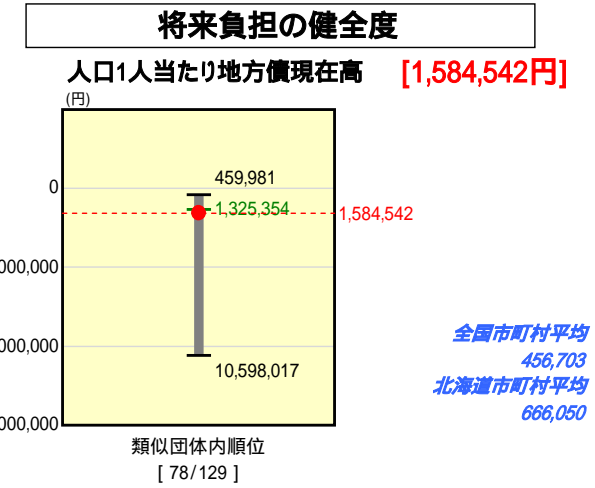
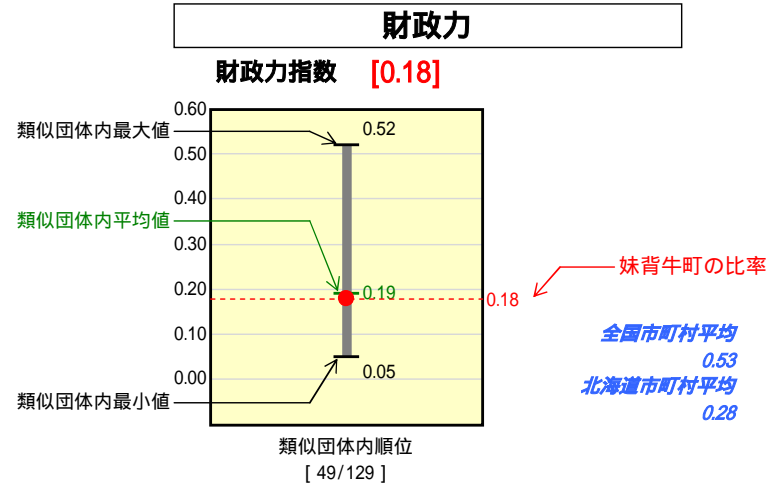


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

北海道 妹背牛町

人口	3,890人	(H19.3.31現在)
面積	48.55	km ²
歳入総額	3,545,360	千円
歳出総額	3,497,236	千円
実質収支	39,276	千円



分析欄

財政力指数：長引く景気の低迷による個人・法人関係の減収などから類似団体平均値を若干下回っているため、退職者不補充等による職員数の削減、緊急に必要な事業を峻別し、投資的経費を抑制する等、歳出の徹底的な見直しを実施する。

経常収支比率：扶助費・補助費・公債費が増加しているが、人件費・物件費・投資的経費の減少により、数値は17年度より若干減少したものの依然として類似団体平均を上回っており、引き続き人件費の削減及び事務事業の見直し等を進め経常経費の削減に努め現在の水準以下を維持するように努めていく。

人口一人当たり人件費・物件費等決算額：類似団体平均と比較して、人件費・物件費等の適正度が低くなっている。要因として退職者不補充による職員数の削減や賃金カット、事務事業の見直し等に係る需用費(消耗品費、印刷製本費等)の削減効果によるものであり、引き続きこれら経費の抑制を継続していく必要がある。

人口一人当たり地方債現在高：類似団体平均値を若干上回っており、昨年数値よりも増額となっている。要因は国営土地改良事業負担金償還に係る起債額が多額(6億5千万)であったことによる。今後公営住宅建設等の大型事業の実施も計画しており、新規起債の適正化等財政健全化に努める必要がある。

実質公債費比率：妹背牛町公債費負担適正化計画に基づき、起債依存型事業見直し等の結果、17年度数値を下回ったが類似団体平均値を上回っており起債に大きく頼ることのない財政運営に努める必要がある。

人口1,000人当たり職員数：過去からの退職者不補充、新規採用者抑制の実施により類似団体平均値を下回っている。今後もITの活用等により、行政サービスを維持しつつ職員の適正配置を実施していく。

ラスパイレス指数：職員の給与カット等実施しているが、職員の平均年齢が高いことから類似団体平均値を上回っている。今後も給与の適正化に努める必要がある。